

令和元年12月 吉日

PTA会員の皆さまへ

大阪府立福井高等学校  
PTA会長 松井 宏之

# PTA講演会のご案内

～『身近にいる「外国にルーツのある子ども」』～

寒気の候、会員の皆さまには、益々のご清栄のこととお慶び申し上げますとともに、日頃よりのPTA活動へのご理解、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

さて、PTA主催講演会を下記のとおり実施することとなりました。今回は、橋本 義範 先生を講師にお招きし、『身近にいる「外国にルーツのある子ども」』と題して、講演会を開催いたします。中国茶を飲みながら、日本の高校に通う外国にルーツのある生徒に関する話を中心とした講演ならびに卒業生を招いた座談会を予定しています。これらを通して、お子様を含め、私たちが向き合う多文化共生・国際理解について考えるきっかけになれば幸いです。お忙しい時期とは存じますが、この機会に是非ご参加ください。

## 記

日時 令和2年1月11日(土) 午後1時30分～午後3時00分  
場所 本校 会議室(1F)  
講師 橋本 義範 先生 「おおさか子ども多文化センター」(裏面に講師紹介)  
講演 『身近にいる「外国にルーツのある子ども」』

- ・現在の日本でなぜ、これほど外国人が増えているのか
- ・学校での「外国にルーツのある子ども」は ・大阪の高校では
- ・将来の日本にとって、どのような存在になるか

持ち物 筆記用具

以上

ご出席の方のみ下線部以下を学級担任へ、1月9日(木)までにご提出ください。

.....キリトリ線.....

# PTA講演会

1月11日(土) PTA講演会に参加します

参加者名前 ( )

( ) 年 ( ) 組 生徒名前 ( )

# ＜講師紹介＞

HP より要約

「NPO法人おおさか子ども多文化センター 事務局 長」橋本 義範 先生

## 【プロフィール】

千葉の県立高校を経て2012年度の退職まで大阪府立高校で勤務。最後の赴任校では「中国帰国生徒及び外国人生徒入学者選抜（現（日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜）」を実施している高校で渡日の生徒達を担当。2013年4月から事務局で活動中。

## 【ご挨拶】

渡日の子どもがおかれている教育環境は、決して満足できる状況ではありません。少しでもそれを改善したいと考え、当NPOの活動に関わりました。将来の日本を支える一員になる子どもたちに十分な教育を保障することが大切だと考えています。

## ＜NPO法人おおさか子ども多文化センター（オコタック）とは＞

日本語・母語教育を含めた包括的な教育支援をおこなうために設立されたNPO法人です。2011年2月に発足しました。

私たちは、異なる言語・文化を持つ人々が、自尊心を損なうことなく

お互いを尊重し、ともに暮らしてゆける多文化な共生型社会の形成をめざしています。

## 【キャッチフレーズ】

8の『つ』 つなぐ・つながる・つたえる・つちかう・つどう・つむぐ・つくる・つよめる

## 【理念・ビジョン】

★ 『異なる言語や文化を持つ人々が、生き生きと暮らしてゆける社会をつくること』

★ この目標に向けて、少しずつでも歩みを進めていきたいと思っています。

- ① つなぐ： 「人」や関係団体・機関同士、「人」と情報を“繋ぎ”、ネットワークの構築をめざします。
- ② つながる： 関わる人たちや行政、NPO、研究機関と情報を交換、共有して“繋がり”、まずは、お互いの顔が見える関係づくりに努めます。
- ③ つたえる： 情報を必要とするところに効果的に“伝える”よう努めます。
- ④ つちかう： 支援に関わる「人材」を、そして、その関係性を“培う”ことを目標にします。
- ⑤ つどう： 様々な分野の人が“集う”居場所作り・リソースセンター的機能の充実を目指します。
- ⑥ つむぐ： “集う”ことで新たな視点から、支援のヒントを“紡ぎ”出すことができればと考えています。教育・福祉・地域等の新たな『絆』を“紡ぐ”ことも大きな目標です。
- ⑦ つよめる： 「人」・「支援」・「ネットワーク」を多方向から“強める”ことにも力を注ぎます。
- ⑧ つくる： 社会的包摂が当たり前の共生型社会を“創る”ため、尽力します。